

リヤディフューザー

品番：11xx

構成部品	個数	構成部品	個数
①リヤディフューザー	1	⑤Uナット	7
②エンブレム	1	⑥タッピングビス M5	7
③メッシュ	1	⑦ボルト・ナットM6	4セット
④ブラケット	2		

1. リヤバンパーを取り外します。

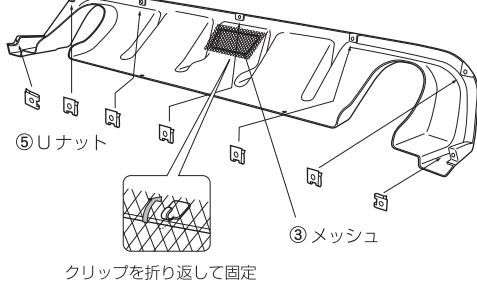
**注意** 一度車両からリヤバンパーを取り外さないと取り付けできません。

2. ノーマルディフューザーを取り外します。

3. 図-1を参照に、③メッシュを取り付けます。

4. 図-1を参照に、⑤Uナットを取り付けます。

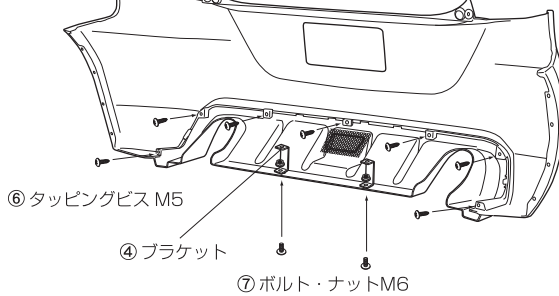
図-1 ①リヤディフューザーを裏側から見た所



5. 図-2を参照に、④ブラケットを取り付けます。

6. 図-2を参照に、①リヤディフューザーを⑥タッピングビスM5でリヤバンパーに取り付けます。

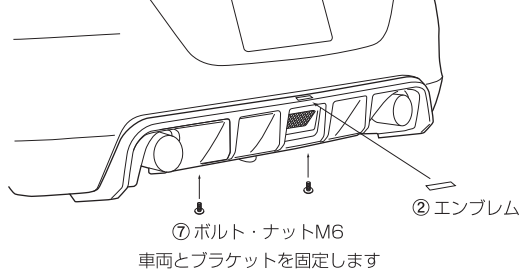
図-2



7. 図-3を参照に、②エンブレムを貼付けます。

8. リヤバンパーを取り付けます。

図-3



取り付け上の注意事項

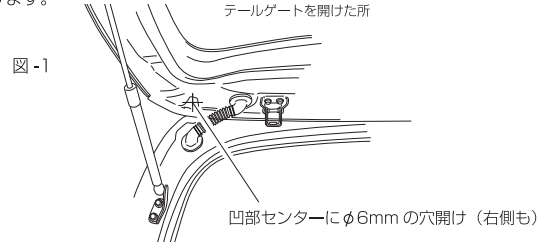
- 取り付け前に車両に傷がついていないか点検して下さい。
- エンジンがかかっている状態では絶対に作業を行わないで下さい。
- 本取り付けの前に仮取り付けを行い、フィッティングを確認の上、塗装、本取り付け作業を行って下さい。
- お車の走行状態、年数、事故などにより、車両に歪みのあるお車には取り付け出来ない場合があります。
- 車両部品の取り外しに際して、紛失や混乱がない様に部品ごとに整理して、復元する際間違えない様配慮して下さい。また、部品を傷つけたりしない様に取り扱いに注意して作業を行って下さい。
- 本書で指示した部品以外は、取り外さない様注意して下さい。
- エアロパーツを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリを拭き取って下さい。
- 車両へエアロパーツを取り付ける際は、2名で作業を行って下さい。
- 両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂して下さい。脱脂作業を怠ると両面テープを接着してもはがれる場合があります。
- 両面テープは、低温時には接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行って下さい。

ルーフスポイラー

品番：11xx

構成部品	個数	構成部品	個数
①ルーフスポイラー	1	③両面テープ 1m	3
②エンブレム	1	④タッピングビス M5	2

1. 図-1を参照に、テールゲートを開き、凹部のセンターに合わせてφ6mmの下穴を開けます。



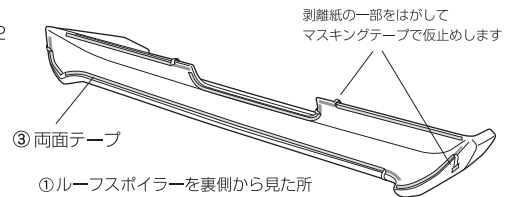
2. 図-3を参照に、①ルーフスポイラーに②エンブレムを貼付けます。

3. ①ルーフスポイラー裏側の両面テープを貼る部分を脱脂します。

4. 図-2を参照に、①ルーフスポイラー裏側に③両面テープを全周に貼付けます。

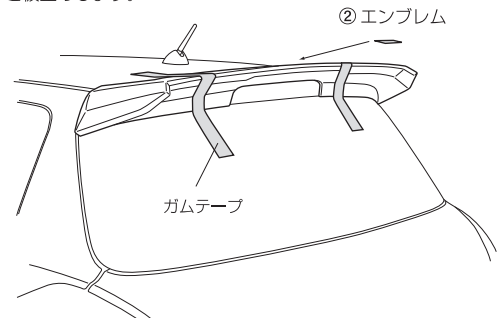
5. 図-2を参照に、③両面テープの剥離紙を一部はがし、表面に折り返し、マスキングテープで仮止めします。

図-2



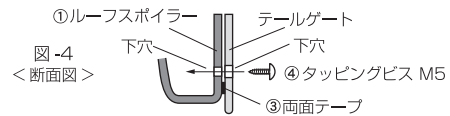
6. 図-3を参照に、①ルーフスポイラーを車両に装着し、動かないようにガムテープ等でしっかりと仮止めします。

図-3



7. テールゲートを開き、内側から下穴に合わせてマーキングし、①ルーフスポイラーを一旦取り外し、ドリルでφ4mmの下穴を開けます。

8. ①ルーフスポイラーを再度装着し、図-4を参照に、④タッピングビス M5 で仮締めし、両面テープの剥離紙を引き抜きながら①ルーフスポイラーを圧着します。



9. 圧着後3時間以上放置してから④タッピングビス M5 を本締めします。

取り付け完了後の点検・注意事項

- エアロパーツが、車両に確実に装着されているか点検して下さい。
- 両面テープの全ての離れ紙はがされ、確実に圧着されているか点検して下さい。
- 取り付け完了後、エアロパーツ及び車両部品に傷がついていないか点検して下さい。
- 取り付け完了後、3時間程度は強い力をかけたり濡れない様注意して下さい。(両面テープはががれ、車両とエアロパーツとの間にすき間が発生する恐れがあります。)
- エアロパーツ本体が汚れた場合、スポンジ等に中性洗剤を付けて落として下さい。(汚れをとる場合、シンナー、ベンジン等の有機溶剤は絶対に使用しないで下さい。)
- 定期的に、取り付けビス等のゆるみをチェックして下さい。
- エアロパーツを装着し、歩道、縁石、凹凸などを乗り越える際、干渉または変形破損、脱落の恐れがありますので注意して下さい。